

皿倉登山鉄道株式会社

皿倉登山鉄道株式会社

I 法人の概要(令和8年4月1日現在)

1 所在地

北九州市八幡東区大字尾倉 1481 番地の 1

2 設立年月日

昭和 32 年 3 月 1 日

3 代表者

代表取締役社長 谷延 正夫(令和8年6月26日就任)

4 資本金

10,000 千円

5 北九州市の出資金

10,000 千円(出資の割合 100.0%)

6 役職員数

		人 数			
		合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員		8 人	0 人	1 人	7 人
	常 勤	1 人	0 人	1 人	0 人
	非常勤	7 人	0 人	0 人	7 人
職 員		10 人	0 人	1 人	9 人

7 団体のミッション

民間の強みを活かして皿倉山の魅力を最大限に発信するとともに、効率的な運営と人材育成により、質の高いサービスを提供し、観光客の増加に貢献する。

II 令和7年度事業実績

当社は、皿倉山においてケーブルカー及びスロープカー施設を市から借り受けて運行しており、皿倉山頂展望台の管理運営業務等を市から受託している。

令和7年度の運行日数は298日、運行率は98.7%となり、ほぼ計画どおりの運行を実施できた。

観光・集客事業では、市事業の「KitaQ おもてなしキャンペーン」や電子チケットサービス「北九州周遊パス」などに参加した。

また、老朽化している施設・設備について、市事業も含め、階段昇降機(山麓駅・山上駅)の更新、展望台エレベータの改修及びケーブルカー軌道監視カメラシステムの更新などに取組んだ。

1 輸送人員

市の「日本新三大夜景都市」第1位認定の効果や、外国人観光客が引き続き増加したことなどにより、輸送人員は、745,123人で、前期比190,069人増(34.2%増)となり、大幅に増加した。

また、ケーブルカーは平成13年の車両リニューアル以来、スロープカーは平成19年の開業以来、いずれも過去最高を更新した。

2 営業利益

営業収益は2億3,384万円、営業費は1億8,553万円で、営業利益は4,830万円となり、過去最高になった。

3 経常利益

上記営業利益に営業外利益を加えた当期の経常利益も、5,075万円(前期比2,154万円増)となった。

4 当期純利益

上記経常利益に特別利益を加え、特別損失や法人税等を差し引いた当期純利益も、3,613万円(前期比1,715万円増)となり、過去最高になった。

Ⅲ 令和 7 年度決算

1 貸 借 対 照 表

令和 8 年 3 月 31 日現在（単位：円）

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流 動 資 産	164,484,522	流 動 負 債	70,184,316
現 金 及 び 預 金	133,683,611	買 掛 金	6,750
未 収 運 賃	4,190,606	一年内返済予定長期借入金	3,433,333
未 収 入 金	19,715,802	未 払 費 用	49,074,016
商 品	433,925	預 り 金	96,207
貯 蔵 品	4,225,150	仮 受 金	181,810
前 払 費 用	59,400	未 払 法 人 税 等	9,788,200
立 替 金	33,388	未 払 消 費 税	4,776,000
仮 払 金	2,142,640	賞 与 引 当 金	2,828,000
固 定 資 産	82,399,993	固 定 負 債	18,454,675
鋼索鉄道事業固定資産	41,683,929	長 期 借 入 金	17,166,675
その他事業固定資産	601,974	退 職 給 付 引 当 金	1,288,000
投資その他の資産			
投資有価証券	40,000000		
出 資 金	10,000	負 債 合 計	88,638,991
長期前払費用	104,090	(純 資 産 の 部)	
		株 主 資 本	158,245,524
		資 本 金	10,000,000
		利 益 剰 余 金	148,245,524
		その他利益剰余金	148,245,524
		繰越利益剰余金	148,245,524
		(うち当期純利益)	(36,139,250)
		純 資 産 合 計	158,245,524
資 産 合 計	246,884,515	負 債 ・ 純 資 産 合 計	246,884,515

2 損 益 計 算 書

自 令和7年4月1日

至 令和8年3月31日

(単位：円)

科 目	金 額	
鋼 索 鉄 道 事 業		
営 業 収 益	150,400,769	
営 業 費	156,246,625	
営 業 損 失		5,845,856
そ の 他 事 業		
営 業 収 益	83,443,802	
営 業 費	29,293,159	
営 業 利 益		54,150,643
全 事 業 営 業 利 益		48,304,787
営 業 外 収 益		2,573,834
受 取 利 息 及 び 配 当 金	299,803	
雑 収 入	2,274,031	
営 業 外 費 用		118,911
支 払 利 息	89,949	
雑 支 出	28,962	
経 常 利 益		50,759,710
特 別 利 益		
固 定 資 産 売 却 益		65,909
特 別 損 失		
固 定 資 産 除 却 損		23,448
税 引 前 当 期 純 利 益		50,802,171
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税		14,662,921
当 期 純 利 益		36,139,250

IV 令和 8 年度事業計画

令和 8 年度においても、市政政策連携団体として、安全運行の徹底を基本としつつ、さらなる利用者サービスの向上や集客対策に努め、皿倉山の観光振興ひいては北九州市の観光振興に資するようケーブルカー・スロープカーの運行に努めることとする。

1 運行計画

運行日数 303 日(休日 118 日、平日 185 日)

※休日は、日曜、土曜、祝日休日

運休日数 62 日(火曜日 45 日、定期点検 5 日、大規模メンテナンス 12 日)

運行時間 4 月～10 月 10:00～22:00(上り最終 21:20)

11 月～3 月 10:00～20:00(上り最終 19:20)

2 安全運行の遵守

ケーブルカーの長寿命化を図るため、電気設備の「予防保全」に努めるとともに、車両等の定期検査や大規模メンテナンスの実施、さらに日常業務におけるきめ細やかな点検・整備の実践により、安全運行を確保する。

3 利用者数と運輸収入の目標

「日本新三大夜景都市」第 1 位認定の効果や引き続き外国人観光客の増加などから、ケーブルカーの利用者数は 42 万人、運輸収入(ケーブルカーとスロープカーの合計)は 2 億 1,000 万円を目標(令和 7 年度比 10%増)とし、これにより 5 年連続の当期損益の黒字を目指す。

4 集客対策

(1) イベント等企画事業

例年どおり、ゴールデンウィーク、サタデーナイト、中秋の名月、クリスマス及びバレンタインの各ライブや天体観測会、星空ビアガーデン(屋外バーベキュー)を開催する。

また、利用者へのおもてなしとして、七夕飾り、紅葉ライトアップ、クリスマスイルミネーション飾りなど季節ごとの飾り付けを行う。

イベントや営業情報については、ホームページや SNS を活用し、積極的に発信する。

(2) 市観光施策等との連携

北九州市の観光施策への参加はもとより、旅行会社や市内のホテル・宿泊施設との連携、市内小学校を中心に校外学習先の誘致活動に積極的に取り組む。

5 市政政策連携団体の取組み

当社の役割として、「皿倉山の魅力の最大限の発信」と「効率的な運営と人材育成」により、「質の高いサービスの提供」と「観光客増加への貢献」が再定義され、今後は、市観光課とともにその実現に向けた取組みを進めて行くことになる。

令和8年度は「広報・集客戦略の推進」や「観光客の多様なニーズに対応したサービスの充実」のため、取締役の構成について、民間知見を導入した体制への見直しを行う予定である。

6 施設設備等の更新・充実

営業損益の進捗や市観光課との協議を踏まえながら、市管理負担分を含めた施設設備等の更新・充実について検討・実施する。

- ・展望台2階ラウンジLED化（市管理負担分）
- ・シャトルバス（更新）
- ・山麓駅「乗車券券売機」（増設）
- ・ライブカメラ（更新）
- ・ホームページ（更新） 等

V 令和 8 年度予算

予定損益計算書

自 令和 8 年 4 月 1 日

至 令和 9 年 3 月 31 日 (単位：千円)

科 目	金 額
営 業 収 益	250,437
ケーブルカー営業収入	140,859
スロープカー営業収入	71,702
受託事業収入	31,667
その他営業収入	6,209
営 業 費 用	196,251
人件費	121,577
動力費・油脂系屑費	3,868
修繕費	20,260
広報宣伝費	3,638
委託料	12,526
備消耗品費	7,734
水道光熱費	8,212
減価償却費	8,827
その他営業費用	9,609
営 業 利 益	54,186
営 業 外 収 益	2,515
営 業 外 費 用	182
経 常 利 益	56,519
特 別 利 益	—
特 別 損 失	—
税 引 前 当 期 純 利 益	56,519
法人税、住民税及び事業税	18,800
税 引 後 当 期 純 利 益	37,719

Ⅵ 役員名簿等

1 役員名簿

令和8年7月1日現在

役 職 名	氏 名	備 考
代表取締役	谷 延 正 夫	
取 締 役	森 川 洋 一	北九州市都市ブランド創造局にぎわい担当理事
//	南 昌 孝	北九州市都市整備局長
//	大 庭 千 枝	北九州市八幡東区長
//	山 田 聡	(一社)日本旅行業協会福岡県支部副支部長
//	白 濱 正 信	北九州ホテル協議会会長
監 査 役	小 島 庸 匡	公認会計士
//	井 上 美 紀	北九州市都市ブランド創造局観光にぎわい部長

2 市との特命随意契約の状況（令和7年度実績）

市からの特命随意契約による委託の状況			左のうち政策連携団体からの再委託の状況				
委託業務名	委託金額 (千円)	特命理由	再委託の 業務内容	委託 金額 (千円)	契約相手	契約方法	特命随意契約の 場合その理由
皿倉山地区 等観光来訪 者対応業務	18,834	参加者の有無を確認する 公募を実施した結果、参加 意思を表明するものがい なかったため。（令和6年 3月実施）	館内清掃 （日常清掃及 び定期清掃）	2,261	エヌ・ク リーン株 式会社	随意契約 （見積合 せ）	
			浄化槽保守	573	株式会 社 梶組	随意契約 （特命）	寒冷差が大きい環 境で、夜間を含め臨 機応変に緊急対応 できる能力を有す るため。
			昇降機設備 保守	1,518	ダイコー 株式会社	随意契約 （特命）	対象設備の技術情 報を保有する同社 しか、速やかな故 障等への対応がで きないため。
			自家用電気 工作物保守	499	中原電気 管理事務 所	随意契約 （特命）	他の電気動力設備 の保守管理と一体 的に実施すること で、円滑な業務の 実施が可能である ため。
			消防設備保 守	66	株式会 社 東和防災 システム	随意契約 （特命）	専門知識・技術を 要するため。
			空調設備保 守	176	スガハラ テクノ株 式会社	随意契約 （特命）	寒冷差が大きい環 境で、夜間を含め 臨機応変に緊急対 応できる能力を有 するため。
皿倉山ケー ブルカー軌 道周辺支障 木伐採及び 剪定業務	990	軌道周辺での伐採は安全 上の問題から、ケーブルカー 運休時にしか作業でき ないため、ケーブルカー運 行者である皿倉登山鉄道 （株）と同じ指揮命令系統 のもと一体で管理し、作業 を進めていく必要がある ため。	ケーブルカー 軌道の安全 の支障とな る樹木の伐 採及び剪定 業務	990	北九州市 森林組合	随意契約 （特命）	専門知識や技術が 必要であるため。
皿倉山ケー ブルカーオー バーホール 等業務	14,993	参加者の有無を確認する 公募を実施した結果、参加 意思を表明するものがい なかったため。（令和6年 3月実施）	皿倉山ケー ブルカーの 製作・納入業 者のみ履行 可能な機器 分解等の現 場の業務	14,993	日本ケー ブル株式 会社	随意契約 （特命）	同社が製作・納品 したケーブルカー 施設で、業務実施 にあたっては特殊 な専門知識や技術 を必要とし、また、 作業を実施するた めの専門的な設 備・施設も備えて いる唯一の業者で あるため。
合 計	34,817		合 計	21,076			